

看看連携研修

テーマ:「災害に強い地域医療を目指して」

令和8年1月10日(土)14:00~15:30

鹿児島大学病院救命救急センター 災害対策コーディネーター
上國料 千夏先生



<講師:上國料 千夏先生>

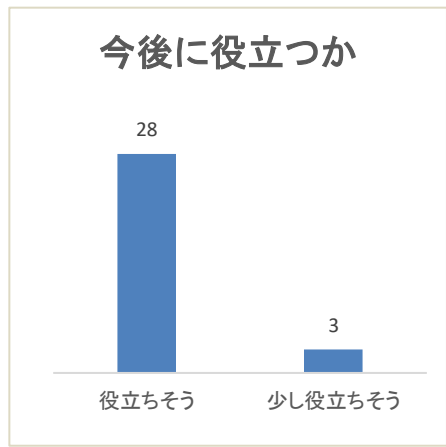
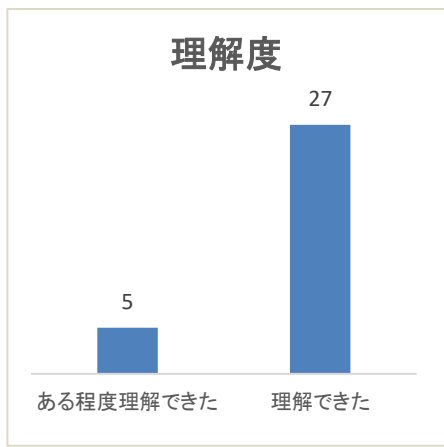
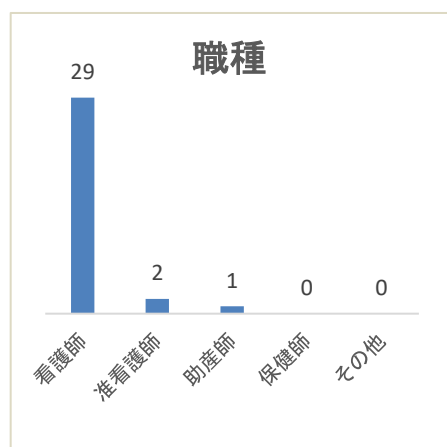
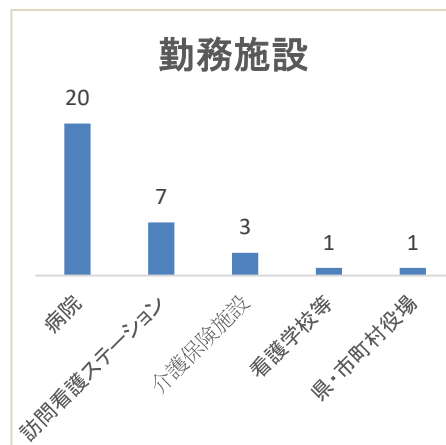
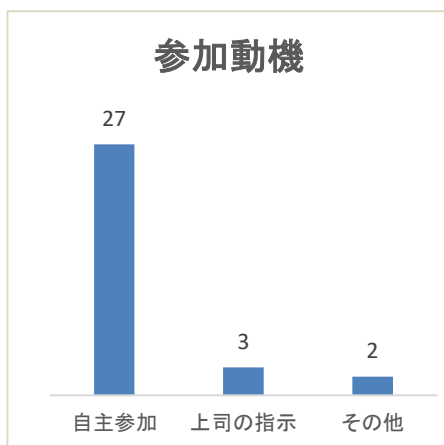
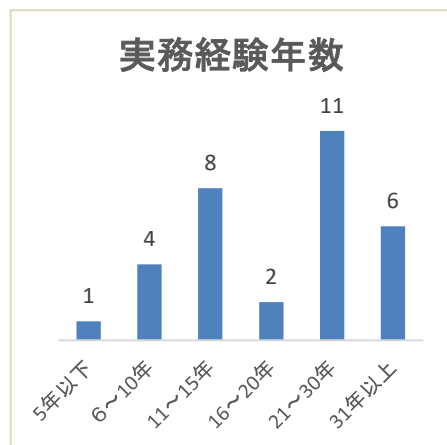
<研修の様子>



GWでは、災害時の初動のあり方や
自施設のBCPについて振り返りました



参加人数:36名
アンケート回答:32名(88.8%)



<研修に関する意見や希望> (抜粋して掲載)

- ・ 自施設で不足している災害対策を把握することができて良かったです。今後の自施設での災害対策に活かしていけたらと思います。
- ・ 備えること、訓練すること、皆で考える機会を作っていきたい。
- ・ 病院と施設や訪看での災害対策の違いを知ることができてよかった。
- ・ 何か起きてからでは遅い。そのため日頃からの備えが大事だと改めて実感しました。
- ・ 受講した職員だけでなく、職場全体が災害に対する意識を改めるべきだと実感した。
- ・ 自分の職場にもBCPはありますが、あるだけで活用や見直しができていませんでした。この機会に見直しと毎年ブラッシュアップしていきたいです。
- ・ 災害発生時に備え日頃からのCSCATTTの認識と対応・備蓄品等の準備の必要性をスタッフ全員へ周知し日頃から災害への意識づけをしておくことが大切だと再確認できた。他人事ではなく明日は我が身！スタッフ全員がそのような気持ちで災害対策に取り組んでいきたいと思いました。
- ・ 病院に勤めている方だけでなく、同じ在宅での支援に携わっている方との情報共有や意見を聞くことができ勉強になりました。今回の研修に参加し自分の事業所で災害とどのように向き合っていくかを具体的に考え、取り組むことが出来るのではないかと思います。今回の研修に参加できて良かったです。ありがとうございます。

